

※ 新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、公募説明会は中止といたします。  
公募説明会用の資料を掲載致します。

なお本資料は主な留意点を説明した資料です。詳細については、掲載されている  
公募関係資料の全てに目を通してご確認ください。



# 「海洋生分解性プラスチックの社会実装に 向けた技術開発事業」

～公募説明会資料～

2021年3月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
材料・ナノテクノロジー部 バイオエコノミー推進室

# 本事業の目的・内容・イメージ

## 研究開発の目的

プラスチックは、日常生活の利便性をもたらす素材として幅広く活用されている一方で、プラスチックごみによる海洋汚染が問題視されるようになってきている。日本では、国内プラスチック生産量（年間1千万トン程度）の内、国内流通の生分解性プラスチックは2,300トン程度と国内市場に占める割合は小さく、しかも海洋生分解性を有するプラスチックの種類は僅かで、海洋生分解性に着目した取り組みは十分行われていたとは言えず、海洋プラスチックごみ問題に対応する研究開発、海洋生分解性を有する新素材開発が求められている。

本事業では、海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて海洋生分解性プラスチックの市場導入を促進し、更なる製品適用拡大により普及拡大を加速させるために、海洋生分解メカニズムに裏付けされた評価手法の開発と海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発を行う。

## 研究開発の内容

詳細は基本計画を参照

### 研究開発項目①「海洋生分解性に係る評価手法の確立」

海洋生分解性機能について各海洋域における既存及び新規の海洋生分解性プラスチックの生分解性評価を行い、海洋領域の違いによる生分解性の基礎データを収集し、海洋生分解性プラスチックが、好氣的条件下では水と二酸化炭素に、嫌氣的条件下では水とメタンと二酸化炭素に分解されるメカニズムを解明するとともに、海洋生分解性の評価手法を確立する。また、生分解途中で生成される中間体を含めた安全性を評価する新たな手法を開発する。

### 研究開発項目②「海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

海洋生分解性プラスチック開発について、新規の化学構造を有する樹脂、新規のバイオ製造プロセスの開発等を行う。また既存の樹脂を複合化して物性や機能性等を高める研究開発や樹脂へ適合する充填剤等の添加剤の開発等を行う。

## 成果適用のイメージ



研究開発項目①「海洋生分解性に係る評価手法の確立」 **※今回①は公募対象外**

研究開発項目②「海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

②-1「新規化学構造を有する樹脂・新規バイオ製造プロセス開発等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

研究開発項目②「海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

②-2「複合化技術等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

研究開発項目① **※今回①は公募対象外**

産学官で協力して取り組むべき基盤技術であり、**委託事業**として実施します。

研究開発項目②-1

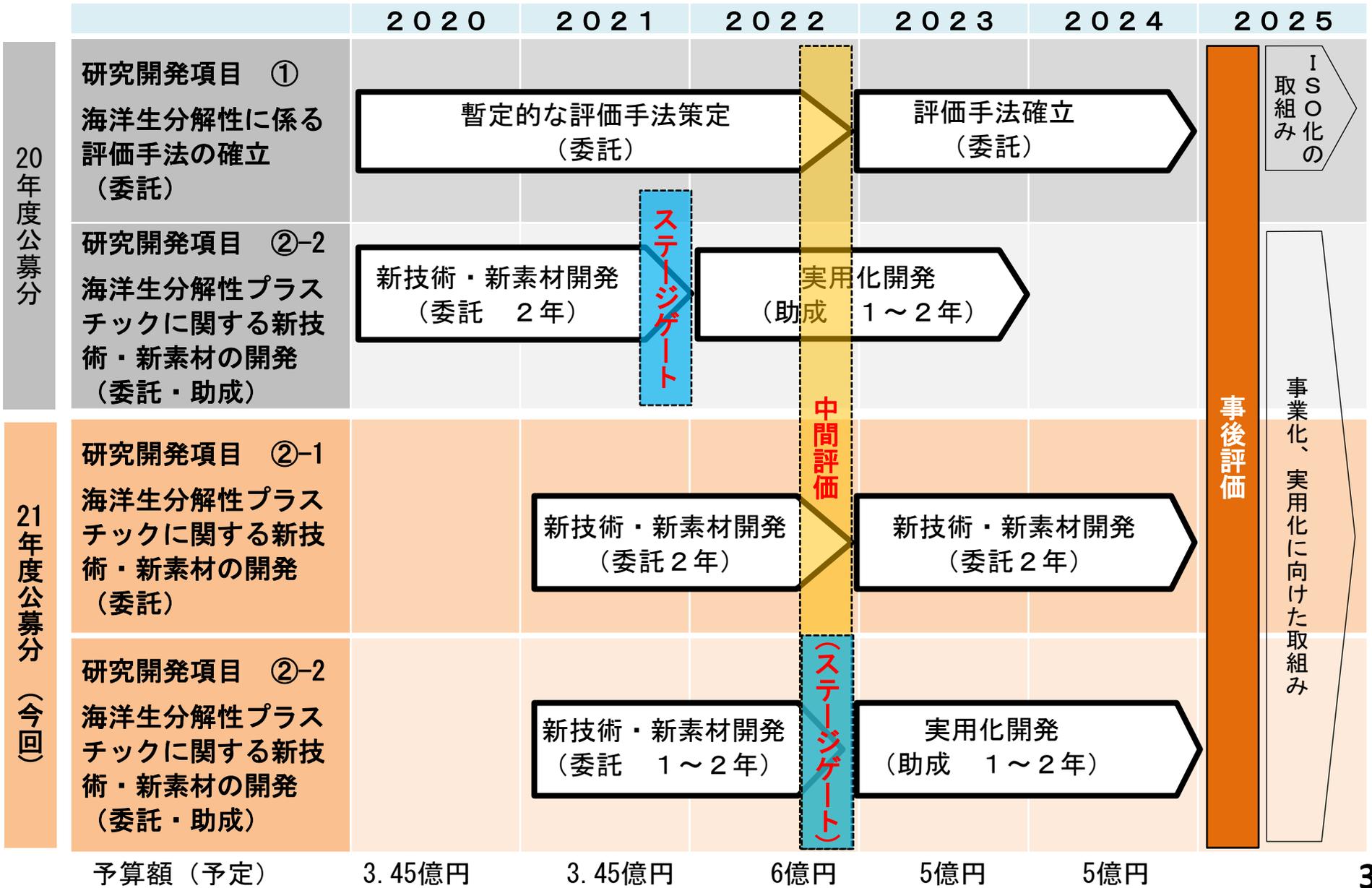
研究開発要素が多く、時間を要するハイリスクな基盤技術に関するものであり、**委託事業**として実施します。

研究開発項目②-2

**委託事業**と**助成事業**のフェーズを設け、フェーズ移行はステージゲートにより行い、事業化に向けた課題は、企業の積極的な関与により推進されるべき研究課題として助成事業（※）として実施します。 ※NEDO負担率：大企業1/2、中堅・中小・ベンチャー企業2/3

# 事業全体スケジュール

詳細は基本計画を参照



## 研究開発項目②「海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

### ②-1「新規化学構造を有する樹脂・新規バイオ製造プロセス開発等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」(委託事業)

海洋生分解性プラスチック開発について、新規化学構造を有する樹脂(上市されていない実験室レベルも含む)。また、既存の樹脂であっても新たなバイオ製造プロセス等の研究開発要素が多く、時間を要する開発を対象とします。

### ②-2「複合化技術等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」(委託事業・助成事業)

海洋生分解性プラスチック開発について、既存の樹脂を複合化して物性や機能性等を高める開発や樹脂に適合する充填剤等の添加剤の開発等の、新たな用途を創出し社会実装を推進する開発を対象とします。

## ◆事業期間：2021年～2024年（4年間）

- ・提案は最大4年計画を受付けますが、採択決定後の当初契約期間は2021年度～2022年度の**2年間**です。

## ◆2021年度事業規模：約3.45億円

研究開発項目②「海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

- ・②-1「新規化学構造を有する樹脂・新規バイオ製造プロセス開発等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」  
（委託事業）：上限0.6億円程度
- ・②-2「複合化技術等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」（委託事業・助成事業）：上限0.4億円程度（NEDO負担額）

※ 事業規模は変動することがあります。契約額は審査結果及び予算変更等により申請額から減額することがあります。

## 《提案書の提出期限》

**2021年4月5日（月）正午アップロード完了**

**※他の方法（持参・郵送・FAX・電子メール等）による受付は行いません。**

今年より、公募が  
電子化されました  
のでご注意ください。

## 《提出先：Web入力フォーム》

<https://app13.infoc.NEDO.go.jp/enquete/form.rbz?cd=2345>

- ※提出書類の**ファイル形式等の詳細は、「別添\_12：提案書類チェックリスト」の記載**に従ってください。
- ※登録、応募内容確認、**送信ボタンを押した後、受付番号が表示**されるため、受付期間内に完了させてください。
- ※入力・アップロード等の**操作途中で提出期限が来て完了できなかった場合は、受け付けません。**
- ※通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、**提出期限直前は混雑する可能性があります**ので、余裕をもって提出してください。

# 提案書表紙

〔提案書記載例〕

〔表紙〕

■複数事業者による共同提案を行う場合、〔表紙〕を提案者毎に作成してください。

代表者機関 /  代表者以外の機関

連名で提案する場合は、連名して提案する機関の中からNEDOからの連絡窓口となる機関（応募連絡先の機関）を定めてください。上記のいずれかの口を■に塗りつぶしてください。

「海洋生分解性プラスチックの社会実装に向けた技術開発事業」に対する提案書

研究開発項目①-1「新規化学構造を有する樹脂・新規バイオ製造プロセス開発等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」

研究開発項目②-2「複合化技術等による海洋生分解性プラスチックに関する新技術・新素材の開発」  
(提案する研究開発項目どちらか一方を記入ください。)

(共同提案の場合は、本頁以下の提案書の項目を併記してください。)

西暦〇〇年〇〇月〇〇日

上記の件について貴機構の委託事業を受託したく、下記の代表者名で提案させていただきます。

会社名 〇〇〇〇株式会社 (法人番号13桁の番号)

■法人番号は、国税庁の法人番号公表サイト  
(<https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/>)などを用い記載してください。(13桁)

代表者名 (企業の場合は代表取締役社長) 〇 〇 〇 〇

所在地 〇〇県〇〇市・・・・・・ (郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇)

連絡先 所 属 〇〇〇部 △△△課

役 職 名 〇〇〇〇〇部長

氏 名 〇〇 〇〇

所在地 〇〇県〇〇市・・・・・・ (郵便番号〇〇〇-〇〇〇〇)

※ 連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載

TEL △△△△-△△-△△△△ (テレワーク時にも日中連絡が付き連絡先)

FAX △△△△-△△-△△△△

e-mail \*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*

e-Radにおける研究機関コード(10桁)

※ 担当者は本提案に関する問い合わせに対応できる者 (研究開発責任者、業務管理者、主要研究員等) としてください。

◆全機関からの提出が必要ですが、再委託先、共同実施先は提出不要です。

◆提案書表紙など、**全ての書類で押印不要**です。

◆テレワークなどで職場では連絡が付きにくい日が多い場合は、日中連絡が付きやすい番号を記載してください。

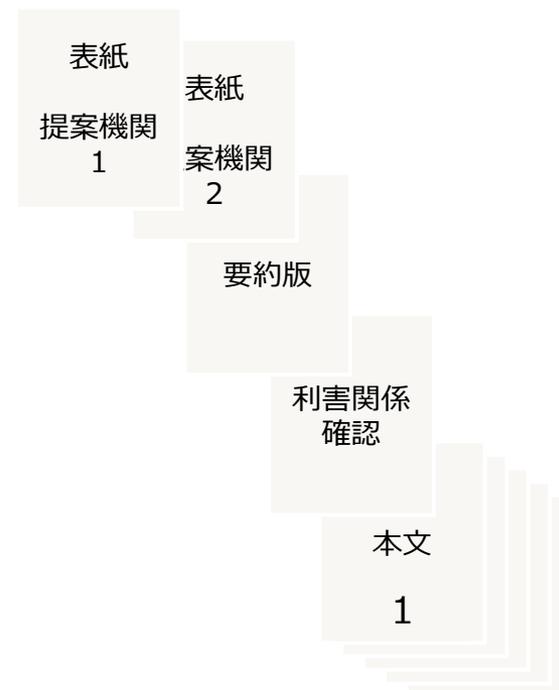
◆応募に際し、併せてe-Radへ応募内容提案書を申請することが必要です。

◆**研究機関の登録がない場合は直ちに申請してください。**研究機関の登録に2週間以上かかる場合があります。

(参考) e-Radポータルサイト

<http://www.e-rad.go.jp/>

- 研究開発の内容について、**初年度の実施内容と達成目標は区分**して記載してください。
- 提案書の用紙はA4版で作成ください。
- 提案書の**項目は削除しないで**ください。  
**青字斜体の注意事項や記載例は削除してください**。項目間の行間は適宜変更、提案書の下中央にページを入れてください。
- 提案枚数制限はございません。  
**審査しやすいよう**に調整ください。
- 提案書は日本語で作成ください。
- Web 入力フォームでのインプットが必要  
⇒公募説明会資料(p13参照))
- 提出書類(②0アップロード書類)  
⇒公募説明会資料(p14参照)



別添 1-2

## 利害関係の確認について

- ▶ NEDOは、採択審査に当たり大学・研究機関・企業等の外部専門家による採択審査委員会を開催します。この採択審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た提案情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
- ▶ さらに、採択審査委員の選定段階で、NEDOは利害関係を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに採択審査委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
- ▶ そこで、提案者の皆さまには、採択審査委員に事前提供する情報の記載をお願いいたします。本書類にていただいた「提案者名」「研究開発テーマ」及び「技術的なポイント」を採択審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうか、の判断を促します。技術的なポイントについては、競合関係を特定することが可能と考える技術的なポイントを問題ない範囲で記載いただけますようお願いいたします。
- ▶ また、NEDOが採択審査委員を選定する上で、利害関係者とお考えになる者がいらっしゃる場合には、別紙の記載欄に任意で記載いただいても構いません。なお、採択審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、御協力をお願いいたします。

(提案者名) (※共同提案を行う場合は、併記してください。大学や公的研究機関の場合は、研究代表者について、大学又は大学院に所属する研究者は、学科又は専攻まで所属を、公的研究機関に所属する研究者は、部門やセンターまで所属を記載ください。)

<委託先>

株式会社

大学 学部 学科 教授

大学院 研究科 専攻 教授

研究所 部門 部門長

<再委託先>

大学 学部 学科 教授

(研究開発項目)

の開発

(技術的なポイント)

(利害関係者とお考えになる者がいらっしゃる場合には、任意で御記載ください。)

該当しない場合は「なし」と記入ください。

◆ **大学又は大学院に所属する研究者は、学科又は専攻まで所属を、公的研究機関に所属する研究者は、部門やセンターまで所属を記載ください。**

◆ **提案者と委員との利害関係の事前確認に使用しますので、競合関係が判断できるように技術的なポイントを問題ない範囲で記入してください。**

◆ **利害関係者とお考えになる者がいる場合には、ページ下部の追加記述欄に任意で記載いただいても構いません。**

提案内容の理解を深められるような資料を作成してください。

- ・ 図表などを用いてわかりやすい表現に努めてください。
- ・ ヒアリング審査において、本資料を用いた説明を依頼する場合がございます。
- ・ 1提案で1つの説明資料となるように作成をしてください。
- ・ 様式枠組みは変更しても構いませんが、様式に設定されている項目名はそのままお使いください。

## 提出期限:

2021年04月05日(月)正午迄アップロード完了

- ・公募要領に従って、提出期限までにアップロードを完了させてください
- ・他の提出方法(持参・郵送・FAX・電子メール等)は受け付けません。

※ e-Rad上の登録が期限に間に合わない場合、事前にNEDO担当者に相談ください。

本事業への提案には**府省共通研究開発管理システム**  
**(e-Rad)** への申請手続きが必須です。  
ご注意ください。

- ・ 連名提案の場合には、代表して一法人から登録を行って  
ください。
- ・ 研究代表者の欄に提案書全体の代表者、研究分担者の欄  
にその他の提案機関研究者の登録をお願いします。

<https://app13.infoc.NEDO.go.jp/enquete/form.rbz?cd=2345>

にて以下の①～⑱を入力いただき、⑳をアップロードしてください。

## ■入力項目

①提案名(研究開発項目②-1or②-2を選択し、番号と名称を記載してください)

②研究開発テーマ名

③代表法人番号(13桁)

④代表法人名称

⑤代表法人連絡担当者氏名

⑥代表法人連絡担当者職名

⑦代表法人連絡担当者所属部署

⑧代表法人連絡担当者所属住所

⑨代表法人連絡担当者電話番号

⑩代表法人連絡担当者Eメールアドレス

⑪研究開発の概要(1000文字以内)

⑫技術的ポイント

⑬代表法人業務管理者

⑭共同提案法人業務管理者名(複数の場合は、列記)

⑮利害関係者

⑯研究体制(担当研究開発項目番号と法人名を入力。)

例:研究開発項目①××会社、○○大学、研究開発項目②△△研究所

⑰研究期間(提案する研究期間を記載。)

⑱提案額(提案総額を入力。)

⑲初回の申請受付番号(再提出の場合のみ)

⑳提出書類(公募要領 p8 4.(4) 提出書類)のアップロード

# 提出書類 (20) アップロード書類

公募要領 P. 8-9

別添12



アップロードファイル名は、半角英数字にしてください。

アップロードするファイル提出書類毎に作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。

⇒詳細は 別添12\_提案書類チェックリスト 参照

提出書類	詳細
研究開発委託事業提案書（詳細は別添1-1）	別添1-1
利害関係確認書	別添1-2
研究開発成果の事業化計画書	別添2
研究開発責任者候補及び業務管理者の研究経歴書	別添3
研究開発テーマ説明資料	別添4
ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況	別添5
NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票	別添6
事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票	別添7-2
e-Rad 応募内容提案書	公募要領p9 4. (5)
会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書）	（企業のみ）
直近の事業報告書	（企業のみ）
財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）	（企業のみ）
実施体制図、総括表、委託先研究分担先分室総括表 （提案書本文に添付する図の元データとなるExcelファイルを提出）	別添1-1
提案書類チェックリスト	別添12
契約書（案）についての疑義の内容を示す文書	（必要な場合のみ）
国外企業等と連携している（予定がある）場合の契約書写	（必要な場合のみ）

**3月05日(金) : 公募開始**

**4月05日(月)正午: 公募締切**

**5月中旬(予定) : 採択審査委員会**

- ・必要に応じてヒアリングや資料の追加等をお願いする場合があります。
- ・委託先選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられません。

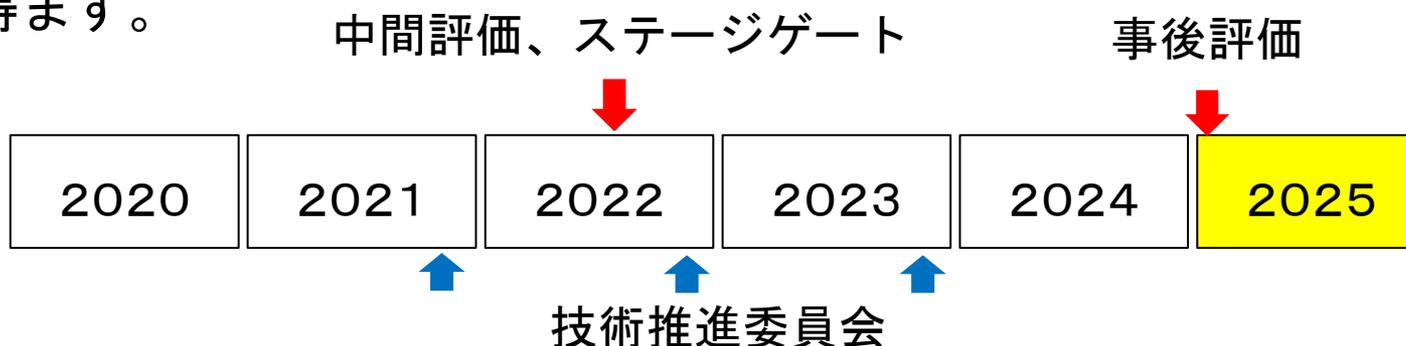
**6月上旬(予定) : 契約・助成審査委員会**

**6月上旬(予定) : 委託先決定・公表**

**8月上旬(予定) : 契約**

- ◆本プロジェクトは、**知財マネジメント基本方針**を適用します。詳細は、**別添8**を御覧ください。
- ◆本プロジェクトでは、産業技術力強化法第17条(**日本版バイ・ドール規定**)が適用されます。
- ◆本プロジェクトの成果である特許等について、「特許等の利用状況調査」(**バイ・ドール調査**)に御協力をいただきます。
- ◆採択後、原則として委託契約書の締結までに提案グループ内の各参加者間(テーマ参加者間)で**知財合意書**を締結していただきます。

- ◆毎年度、NEDOが設置する外部有識者による技術推進委員会で進捗確認等を行い、必要に応じて研究開発を加速・縮小・中止する場合があります。
- ◆また、ステージゲート方式(②-2のみ)の採用により、研究開発の途中段階にて実施内容の見直しや研究開発を中止する場合があります。
- ◆プロジェクト中間評価結果や政府予算状況等による加速・縮小・中止もあり得ます。



- ・ 研究開発計画、各年度の位置付け・目標を明確化してください。
- ・ 目標の設定理由、検証するための指標も提案書に記載してください。

本事業の内容及び契約に関する質問等は**3月29日までの期間**に限り下記宛に**電子メール**にて受け付けます。

※審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

材料・ナノテクノロジー部

バイオエコノミー推進室 柳川、沖、高槻、原田

電子メール:[bio\\_sea@ml.nedo.go.jp](mailto:bio_sea@ml.nedo.go.jp)

提案書を作成いただく上で参考となる資料です。

## ◆NEDO事業者説明会（新規／検査）の資料

<https://www.nedo.go.jp/content/100894768.pdf>

## ◆2020年度版 委託業務事務処理マニュアル

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

## ◆2020年度 契約書・約款・様式

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

採択決定後の契約時には、最新の契約書・約款等が適用されます。